



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社トプコン
コード番号 7732 URL <http://www.topcon.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 聡
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 (氏名) 小川 隆之 (TEL) 03-3558-2536
経理統括部長
四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日 配当支払開始予定日 平成26年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家・メディア向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	59,402	12.5	5,905	42.5	5,640	39.6	3,489	108.5
26年3月期第2四半期	52,795	14.5	4,143	175.2	4,040	730.5	1,673	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 4,728百万円(96.6%) 26年3月期第2四半期 2,404百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	32.30	—
26年3月期第2四半期	15.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	130,437	58,491	44.2	533.39
26年3月期	135,818	54,328	39.5	496.22

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 57,613百万円 26年3月期 53,598百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年3月期	—	8.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	11.4	16,000	36.4	14,500	28.3	8,300	39.2	76.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更」をご参照ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期2Q	108,085,842株	26年3月期	108,085,842株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	71,887株	26年3月期	71,221株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期2Q	108,014,332株	26年3月期2Q	108,015,130株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想は、本資料の発表日現在においての将来の事業環境の動向、競合状況、為替変動等に関する予想を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因により、業績予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における経済環境は、米国では企業活動を中心に緩やかに回復しましたが、欧州では南欧諸国を中心に引続き不透明感があります。また、中国等の新興国群では各地域で状況は異なるものの景気の回復力は弱く、依然として停滞した推移を示しております。

日本においては輸出増や公共事業需要の増加があり、景気は緩やかな回復が続きました。

このような経済環境にあって当社グループは、“TOPCON WAY”の思想に基づいた企業風土の改革を進め、また、“Creativity & Growth”「創造力と成長」のスローガンのもと、独創的な発想により成長市場で事業を拡大し、利益ある持続的成長を実現するために取り組んでまいりました。

こうした中で、当第2四半期の当社グループの〔連結〕業績は、次のようになりました。

売上高は、日本および米国での増加や為替の影響等により59,402百万円となり、前年同期と比べ12.5%の増収となりました。

利益面では、売上高の増加や原価低減の効果等により、営業利益は5,905百万円（前年同期と比べ42.5%の増益）、経常利益は5,640百万円（前年同期と比べ39.6%の増益）となりました。この結果、四半期純利益は3,489百万円（前年同期と比べ108.5%の増益）となり、前年同期と比べ大幅に改善いたしました。

(事業セグメント毎の経営成績)

スマートインフラ・カンパニーでは、公共事業需要の増加等により日本で伸長した一方、その他の地域で減少したことにより、売上高は15,639百万円となり、前年同期と比べ△247百万円の減収となりました。営業利益は、原価低減の効果等により2,242百万円の利益となり、前年同期と比べ13.6%の増益となりました。

ポジショニング・カンパニーでは、米国が伸長したことにより、売上高は27,383百万円となり、前年同期と比べ22.5%の増収となりました。営業利益は、この売上高の増加等により2,929百万円の利益となり、前年同期と比べ60.1%の増益となりました。

アイケア・カンパニーでは、欧州および米国が伸長したことにより、売上高は18,582百万円となり、前年同期と比べ8.8%の増収となりました。営業利益は、この売上高の増加や原価低減の効果等により1,462百万円の利益となり、前年同期と比べ16.9%の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①当第2四半期の財政状態の状況

当第2四半期末の財政状態は、総資産が130,437百万円、純資産が58,491百万円、自己資本比率が44.2%となりました。

総資産は、主に「受取手形及び売掛金」が減少したこと等により、前期末（平成26年3月期末）に比べ、5,380百万円減少いたしました。また、純資産は、第2四半期純利益の計上に伴う「利益剰余金」の増加により、4,162百万円増加いたしました。これらの結果、自己資本比率は、前期末（平成26年3月期末）に比べ、4.7%増加いたしました。

②当第2四半期のキャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間（6ヶ月）における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、固定資産の取得や借入金等の返済等による「資金」の減少があったものの、営業活動によるキャッシュ・フロー等による「資金」の増加があったことにより、前年度末に比べ、720百万円増加し、15,749百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による「資金」の増加は、10,862百万円（前年同期は5,185百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5,640百万円に減価償却費1,858百万円やのれん償却額866百万円を加算した収入や売上債権の減少額5,700百万円等による「資金」の増加の一方、法人税等の支払額2,322百万円等

の「資金」の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による「資金」の減少は、2,632百万円(前年同期は1,483百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,446百万円や無形固定資産の取得による支出1,117百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による「資金」の減少は、7,838百万円(前年同期は6,608百万円の減少)となりました。これは主に、短期借入金の減少3,291百万円や長期借入金の返済による支出4,244百万円、及び配当金の支払額539百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年7月31日に開示いたしました前回予想から変更はありません。今後の業績推移、市況動向を注視し、業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更並びに割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が223百万円減少、退職給付に係る資産が293百万円減少し、利益剰余金が22百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,187	15,921
受取手形及び売掛金	41,875	37,072
商品及び製品	18,237	18,451
仕掛品	4,195	4,331
原材料及び貯蔵品	6,988	7,160
その他	11,315	10,492
貸倒引当金	△1,409	△1,521
流動資産合計	96,391	91,908
固定資産		
有形固定資産	11,188	11,574
無形固定資産		
のれん	8,319	7,593
その他	9,812	10,399
無形固定資産合計	18,132	17,993
投資その他の資産	10,105	8,960
固定資産合計	39,426	38,529
資産合計	135,818	130,437
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,107	11,058
短期借入金	25,044	27,736
未払法人税等	2,378	1,846
製品保証引当金	797	938
その他	10,682	9,647
流動負債合計	50,010	51,227
固定負債		
長期借入金	22,689	13,518
役員退職慰労引当金	39	44
退職給付に係る負債	7,292	5,529
その他	1,457	1,626
固定負債合計	31,478	20,718
負債合計	81,489	71,946

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,638	16,638
資本剰余金	20,950	20,950
利益剰余金	17,804	20,731
自己株式	△58	△59
株主資本合計	55,335	58,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	468	575
繰延ヘッジ損益	△47	△45
為替換算調整勘定	△712	117
退職給付に係る調整累計額	△1,445	△1,294
その他の包括利益累計額合計	△1,736	△646
少数株主持分	729	877
純資産合計	54,328	58,491
負債純資産合計	135,818	130,437

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	52,795	59,402
売上原価	27,808	29,835
売上総利益	24,986	29,566
販売費及び一般管理費	20,842	23,660
営業利益	4,143	5,905
営業外収益		
受取利息	30	39
受取配当金	17	20
持分法による投資利益	60	45
為替差益	235	93
その他	247	110
営業外収益合計	590	309
営業外費用		
支払利息	526	458
その他	167	116
営業外費用合計	694	574
経常利益	4,040	5,640
特別損失		
投資有価証券評価損	467	—
関係会社整理損	104	—
減損損失	25	—
特別損失合計	597	—
税金等調整前四半期純利益	3,442	5,640
法人税、住民税及び事業税	1,254	1,751
法人税等調整額	384	304
法人税等合計	1,638	2,056
少数株主損益調整前四半期純利益	1,803	3,584
少数株主利益	129	94
四半期純利益	1,673	3,489

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,803	3,584
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	159	106
繰延ヘッジ損益	△58	2
為替換算調整勘定	510	852
退職給付に係る調整額	—	151
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	30
その他の包括利益合計	601	1,144
四半期包括利益	2,404	4,728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,245	4,579
少数株主に係る四半期包括利益	159	148

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,442	5,640
減価償却費	1,841	1,858
のれん償却額	928	866
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8	82
受取利息及び受取配当金	△47	△59
支払利息	526	458
投資有価証券評価損益(△は益)	467	-
関係会社整理損	104	-
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△547	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	110
売上債権の増減額(△は増加)	4,077	5,700
たな卸資産の増減額(△は増加)	△838	107
未収入金の増減額(△は増加)	346	91
仕入債務の増減額(△は減少)	△29	△267
未払金の増減額(△は減少)	△605	△669
未払費用の増減額(△は減少)	△1,001	△781
その他	△2,300	435
小計	6,357	13,573
利息及び配当金の受取額	61	73
利息の支払額	△541	△462
法人税等の支払額	△691	△2,322
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,185	10,862
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△116	△78
定期預金の払戻による収入	157	72
有形固定資産の取得による支出	△908	△1,446
有形固定資産の売却による収入	121	92
無形固定資産の取得による支出	△879	△1,117
投資有価証券の取得による支出	△0	△356
投資有価証券の売却による収入	18	148
子会社株式の追加取得による支出	△3	-
子会社株式の売却による収入	70	-
長期貸付けによる支出	△6	△53
長期貸付金の回収による収入	21	28
その他	42	76
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,483	△2,632

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,430	△3,291
長期借入れによる収入	7,147	400
長期借入金の返済による支出	△10,736	△4,244
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△159	△138
配当金の支払額	△428	△539
その他	△0	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,608	△7,838
現金及び現金同等物に係る換算差額	168	329
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,736	720
現金及び現金同等物の期首残高	16,883	15,029
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,147	15,749

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					消去及び 全社	合計
	スマートインフラ・ カンパニー	ポジショニング・ カンパニー	アイケア・ カンパニー	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,511	21,047	17,072	3,163	52,795	—	52,795
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,375	1,304	—	12	5,692	△5,692	—
計	15,887	22,352	17,072	3,175	58,487	△5,692	52,795
セグメント利益 (営業利益)	1,975	1,830	1,251	16	5,072	△928	4,143

(注)「セグメント利益」の「消去及び全社」の額△928百万円は、各報告セグメントに配分していないのれんの償却額であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					消去及び 全社	合計
	スマートインフラ・ カンパニー	ポジショニング・ カンパニー	アイケア・ カンパニー	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,508	25,840	18,582	3,471	59,402	—	59,402
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,131	1,542	—	22	5,697	△5,697	—
計	15,639	27,383	18,582	3,493	65,099	△5,697	59,402
セグメント利益 (営業利益)	2,242	2,929	1,462	136	6,772	△866	5,905

(注)「セグメント利益」の「消去及び全社」の額△866百万円は、各報告セグメントに配分していないのれんの償却額であります。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円)

	日本	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・オセアニア	その他	消去及び全社	計
売上高								
外部顧客への売上高	15,434	16,774	13,504	2,489	3,691	900	—	52,795
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,666	3,836	535	2,408	897	—	△18,344	—
計	26,100	20,611	14,039	4,897	4,589	900	△18,344	52,795
セグメント利益(営業利益)	2,865	2,020	417	313	167	50	△1,691	4,143

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

(単位：百万円)

	日本	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・オセアニア	その他	消去及び全社	計
売上高								
外部顧客への売上高	16,426	21,162	14,948	2,466	3,336	1,062	—	59,402
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,617	4,926	752	2,194	944	—	△19,435	—
計	27,043	26,089	15,700	4,661	4,280	1,062	△19,435	59,402
セグメント利益(営業利益)	2,583	3,265	432	210	33	36	△656	5,905

- (注) 1 売上高及びセグメント利益は当社並びに当社子会社の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
2 「その他」の区分に所属する地域は中東であります。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円)

	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・オセアニア	その他	計
海外売上高	11,843	13,063	3,949	6,729	5,468	41,054
連結売上高						52,795
連結売上高比(%)	22.4	24.7	7.5	12.8	10.4	77.8

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

(単位：百万円)

	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・オセアニア	その他	計
海外売上高	14,532	14,451	3,801	6,552	5,294	44,633
連結売上高						59,402
連結売上高比(%)	24.5	24.3	6.4	11.0	8.9	75.1

- (注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
2 「その他」の区分に所属する主な国又は地域の内訳は以下のとおりであります。
中南米、中東、ロシア、アフリカ